

木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

地域の方にお世話になっています！

【交通安全教室 4月24日（水）3・4時間目】

3時間目は1・2年生が「安全な道路の歩き方」を、3年生以上は「安全な自転車の乗り方・安全な登校班歩行」を学びました。3人の交通指導員の方が来てくださいました。

まず、低学年です。子供たちが道路を渡っている様子を描いてある大きな用紙を見せてくださり「あぶないところはどこですか？」ときかれました。すると「道路で遊んでいます。」「バスの陰から飛び出しています。」「道路でふざけています。」など意見がでました。そのあとで、指導員の方が、車道と歩道の違いを説明してくださいました。そして、信号の色の説明もしてくださいました。青色は、渡ってもいい。黄色は、止まる。途中で黄色になったらさっさと渡る。赤色は、止まれ。次の青になるまで待つ。ここまで聞いていた子供たちは「エー、黄色は止まるんじゃ。いつも慌てて渡っていたよ。」と小さい声で言ったのが印象的でした。

この日の天気はちょうど雨でした。そこで、前がとても見えにくくなります。車を運転している人から見ても見えにくくなります。前をきちんと見て歩くこと、傘を振り回したり、突いたりしないようにと注意をしてくださりました。

最後に横断の約束をしました。①手をあげます。②左右を確認します。③車がないのを確認して左右を見ながら渡ります。この3つを実行しましょう。



4時間目は3年生以上です。開口1番に言われたのは「自転車は自動車と同じです。今から10年ぐらい前に小学校の5年生の子供がスピードの出しすぎと確認を怠り、おばあさんを転倒させ寝たきり状態になりました。裁判が行われ9800万円の損害賠償を支払うように判決が出ました。もう1度言います。自転車は車と同じです。おもちゃではありません。ヘルメットをかぶり規則に沿った運転をしていきましょう。」この話は子供たちにとって衝撃だったようで会場はシーンとしました。

安全運転の鉄則としての自転車点検の合言葉を教えてくださいました。それは、「ブタハ チカデ シャベルサ」です。

ブ…ブレーキ、 タ…タイヤ、
ハ…ハンドル、 チ…チェーン、 カ…鍵、
デ…電気、 シャ…車体、 ベル…鳴るベル そして、 サ…サドル

自転車の乗り方

- ① 左側から乗るために立ちます。
- ② 車が来ないか確認します。
- ③ ペダルをこぎ出せるようにします。
- ④ 左右後ろを確認してスタート。

自転車の降り方

- ① 自転車を止めるために左右を確認して左・右の順番にブレーキをかけます。
- ② 後ろから車が来ていないかを確認して降ります。

「ヘルメットの大切さ」として2つのことを教えてくださいました。1つ目は、10人のうち9人の人は頭の怪我で亡くなっていること。ヘルメットを着けていれば、命をなくすことはなかったことです。2つ目は、同じ生卵をビニール袋に入れたものとヘルメット入れたものを指導員さんの身長の高さから落とされました。ビニール袋の中の卵はぐちゃぐちゃになっていたのに、ヘルメットの中の卵は全く割れていませんでした。これだけヘルメットには守られているのだと実感する実験でした。おうちでも話題にしていただければと思いました。より実践につながるようにしたいですね。ご指導ありがとうございました。

